



Ecosonic DX Report 2023

情報処理システムの運用及び管理に関する指針

株式会社 エコソニック

発行：2023年12月

「株式会社エコソニックは将来の子供たちの為に、 再生可能エネルギーを推進させ、地域脱炭素を目指します」

2018年9月に発足した弊社は、再生可能エネルギーを中心とした総合エネルギー事業を展開して参りました。事業の中心は、太陽光発電の設置で、地元地域で脱炭素活動を推進しております。

最近では、一般社団法人道の駅連絡会と連携し、太陽光発電を搭載したイベント用大屋根「みちヤネ」をリリース。活動が全国規模になってきており、業務量が増大して参りました。これまでと同様、顧客のみなさまに価値を提供し続けるとともに、さらなる脱炭素活動を推進して行くためには、デジタル技術の活用、および DXの推進が必須となっております。

この環境変化に対応すべく「DX推進に関する方針」をまとめ、社員一丸となってデジタル技術を学び、活用することにより、新たな価値を創出することで、顧客満足度向上ならびに脱炭素推進に取り組んで参ります。

代表取締役：後藤 直也

私たちは、エネルギー（脱炭素・防災）事業、建築事業を推進することで社会課題の解決に努め、「ありがとう」を集め、感謝の好循環社会を目指します。

■ ミッション：将来のこどもたちのために

- 私たちが提供する製品やサービスは、次世代の子供たちが豊かで充実した未来を享受できるように、持続可能な社会の発展に貢献します。

■ ビジョン：Collect “ARIGATO”

- 当社に関わるすべての方に「ありがとう」を届け、エコソニックからはじまる「ありがとう」の好循環を作ります。

■ バリュー：Accelerate for Customers

- 関わるすべての方々に謙虚に対応し、お客様の要望に迅速に応える姿勢を持ち続けます。

市場の变化が加速していく中において、新規事業や付加価値をスピード感を持って創出することで顧客満足度を高めること。また、新しいデジタル技術に対する受容性を高めることで他社との差別化を図れるような変革に向けて行動することを宣言し、次の3つの「DX方角性」を策定します。

1. リアルタイム経営

- データに基づいた素早い意思決定により、顧客満足度を高めます。

2. 業務全体の最適化

- 生産性と創造性の向上と働きやすさを両立した職場環境により、従業員満足度を高めます。

3. DX人材の創出

- DXに関するリテラシーを身につけ、自分事と捉え、行動できるようになります。

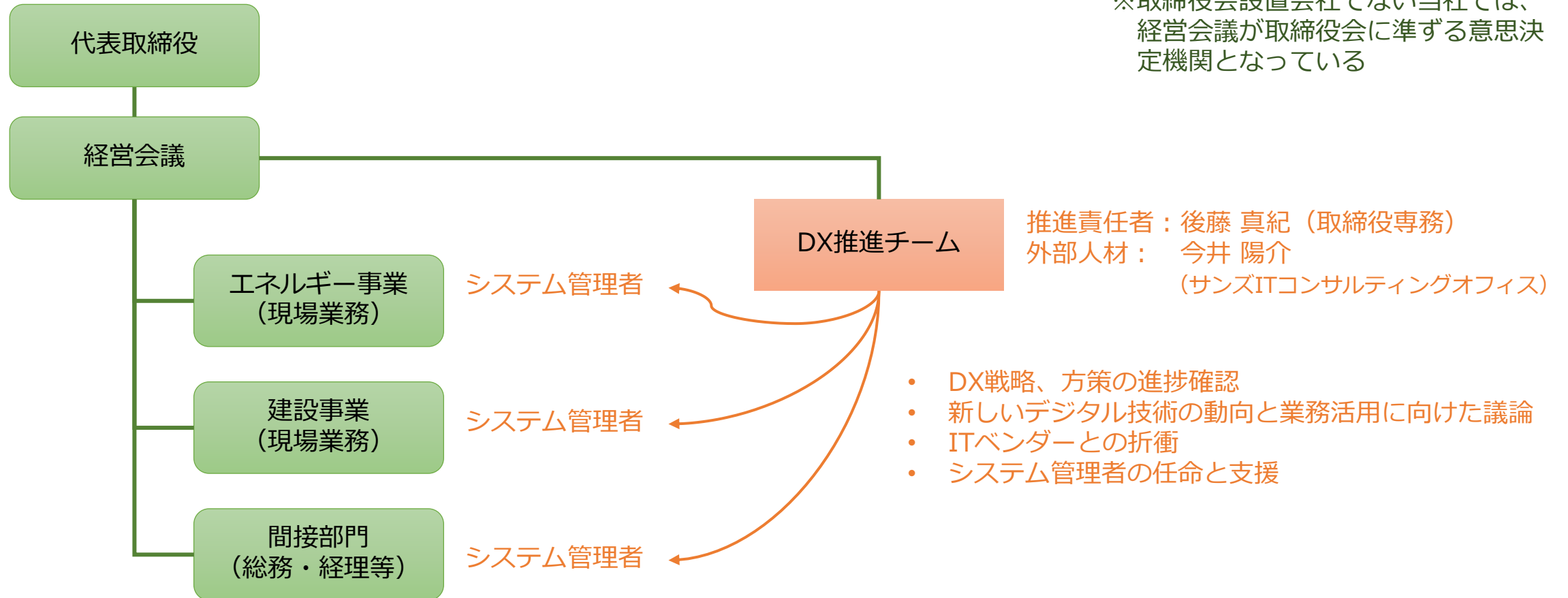
情報処理技術の活用 of 具体的な戦略



方向性	現状（2023年）	ステップ1（1-2年後）	ステップ2（2-3年後）	ステップ3（3-5年後）
1, リアルタイム経営	<ul style="list-style-type: none"> 情報が紙と電子データに分散されて管理 データの入力が遅れ、意思決定が勘と経験に頼っている 	<ul style="list-style-type: none"> 会計システム および CRM導入による、経理/顧客情報の迅速なデータ入力 グループウェアの導入による、情報の一元管理と職人と事務員とのコミュニケーションの充実 	<ul style="list-style-type: none"> BIツールの導入による、個別の業務間のデータがリアルタイムに連携をし、データでの意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> SaasやAI等の導入で会社全体の業務プロセスのデジタル化により、顧客満足度向上と新規事業の創出
2-1, 業務全体の最適化（現場業務）	<ul style="list-style-type: none"> 職人の経験頼り 適正な評価育成が難しい 現場作業優先により現場事務業務が仕掛かる 	<ul style="list-style-type: none"> 案件情報のデータ化による現場監督の事務業務の負担軽減による、施工品質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 作業員のスキルに見える化による、一人ひとりの特性や特徴に応じた育成と評価を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のIT技術の導入による、安全でかつ高品質の確保 および 労働環境の抜本的な改善
2-2, 業務全体の最適化（事務業務）	<ul style="list-style-type: none"> 各業務の属人化 手作業による二重入力が発生 	<ul style="list-style-type: none"> グループウェア導入による、アナログデータのデジタル化と業務の標準化 リモートワーク環境構築 	<ul style="list-style-type: none"> Saas/RPA等の導入による、事務業務全体の業務プロセスのデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のIT技術の導入による、さらなる業務の効率化を推進
3,DX人材の創出	<ul style="list-style-type: none"> 外部の伴走支援者 および DX有識者主導のもと、経営層が重要性を認識 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員全員がDXに関する用語が普通の会話で理解できること 	<ul style="list-style-type: none"> 経営層が定期的にDX戦略、指標の確認、見直しを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 伴走支援の下、プロジェクト管理やIT課題を解決出来る人材を創出

トップダウンによる推進のため、経営会議の直下に「DX推進チーム」を設置し、外部人材を活用しながら取り組んでいきます。

※取締役会設置会社でない当社では、経営会議が取締役に準ずる意思決定機関となっている



デジタル技術の導入にあたり、毎年IT関連予算を売上高の2%設け、方策を実行していきます。

1. 会計システムの導入および活用による経理データ入力効率化
2. Google Workspace および NASの活用による社内情報の一元化
3. Backlog（案件管理システム）の導入による案件情報の一元化
4. リモートワーク環境構築
5. 情報リテラシー社内研修 および 外部研修機会の提供
6. 情報セキュリティ対策強化

戦略達成状況に係る指標



方向性	CSF	KGI (5年後)	KPI
1, リアルタイム経営	データに基づいた素早い意思決定により、顧客満足度を高める	<ul style="list-style-type: none"> ① 売上高 (目標非公表) ② 売上高営業利益率 (目標非公表) 	<ul style="list-style-type: none"> • 月次締め日から試算表出力までのリードタイム • 案件受注数 • 新規事業の獲得件数
2, 業務全体の最適化	生産性と創造性の向上と働きやすさを両立した職場環境により、従業員満足度を高めます	<ul style="list-style-type: none"> ① リモートワーク実施社員の割合：間接人員100% ② 現場案件の情報管理共有率：95% 	<ul style="list-style-type: none"> • システムによる案件管理件数 • 業務で使う帳票類の電子化率 • 従業員へのデバイス配布率 • 従業員の超勤時間
3,DX人材の創出	DXに関するリテラシーを身につけ、自分事と捉え、行動できるようになります	<ul style="list-style-type: none"> ① 現場作業のデジタル化に対応できる人員：1名 ② 伴走支援の下、プロジェクト管理やIT課題を解決できる人員：1名 ③ 情報セキュリティインシデント件数：ゼロ件 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報リテラシー社内研修回数 • 外部への研修機会の提供件数 • 情報セキュリティ対策支援サイトのオンライン診断結果

毎事業年度終了後にKPIの達成状況を確認、PDCAサイクルにより見直しを実施し、レポートとしてまとめ、ホームページで公表する。

当社は、お客様からお預かりした情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社員で情報セキュリティに取り組みます。

1. 経営者の責任

- 当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

2. 社内体制の整備

- 当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

3. 従業員の取組み

- 当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。

4. 法令及び契約上の要求事項の遵守

- 当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

5. 違反及び事故への対応

- 当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。

制定日：2023年11月19日
株式会社 エコソニック
代表取締役 後藤直也

EOF